

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015 年 9 月 14 日

組織名 【 小白川至誠堂病院労働組合 】

施設名 【 小白川至誠堂病院 】

職場・所属 【 書記局 】 1 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

自分の息子が自衛官を受験します。親としては、こんな状況のなか、正直受験させたくはないけれど、本人の強い意志があり、戦争法案に反対の話をして耳を傾けようとしません。この法案が上がってくる前から自衛隊を希望していたのでちょっとやそつではあきらめようとしませんが親として辛いです。戦争に行かせるために子供を育ててきたわけではありません。自衛隊員として任務を果たさなければならないという息子の気持ちを考えると悲しいです。



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015 年 9 月 14 日

組織名 【 小白川至誠堂病院労働組合 】

施設名 【 小白川至誠堂病院 】

職場・所属 【 栄養科 】 9 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

戦争反対！

工藤和彦、伊藤安信、井上洋、今野栄二、菅野直明、東海林宏、小林直樹、矢口瞳、鈴木由貴



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015 年 9 月 14 日

組織名 【 小白川至誠堂病院労働組合 】

施設名 【 小白川至誠堂病院 】

職場・所属 【 組合書記局 】 1 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

戦争反対！！二度と同じ過ちを繰り返さないように！！

戦争に対して絶対反対です。

戦争は憎しみ、悲しみしか生みません。二度と同じ過ちを繰り返さないように！

総理から先にどうぞ

人の命の重さ<言葉の軽さ(国会議員の発言)



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015 年 9 月 14 日

組織名 【 小白川至誠堂病院労働組合 】

施設名 【 小白川至誠堂病院 】

職場・所属 【 内科 】 1 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

これからの子供たちに
キケンな事をさせたくありません。
子供たちの未来を守っていくために反対です。

